

意見・提案

優先順位をどう考えるかが重要

△ 道路を地域の住民がどう考えるかが重要。計画としてはあっても、最後に決めるのは住民自身。車の交通を優先するか、歩行者を優先するか。

・水勾配を工夫して、歩道面を平たんにする

△ 道路の水はけと勾配の関係。場所によっては平らでもいいのでは…勾配がつくと車いすが傾いてしまう。水を流すのは道路の端でなくてもかまわないはず(真ん中にするとか)。

・歩道の構造(ガードレール・電柱の位置、車歩道分離の方法、すれ違いの空間等)を工夫する

□ 大橋図書館前の坂道を整備してパイプ柵のある歩道に。

△ ガードレールか白線か。遮るものがないため、白線の方が歩行者にとって融通が利く。ただし、ガードレールがないと車が駐車しやすくなってしまう。

△ 歩道にポケット(一部広いスペース)を設けたい。歩道が狭くても、反対から来る車いすやベビーカーとスムーズにすれ違うことができる。

△ 点字ブロックに無線(ICチップ)を埋め込みたい。車いすに受信機をつけることで、スムーズな誘導・案内に役立つ。

△ 歩道を片方に寄せて広くしてはどうか。狭い歩道でも、両側にあるのを片方に寄せればその分広く取ることができる。ガードレールの設置や警察との協議が必要

△ ガードレールと電柱の関係。ガードレールの内側に電柱があることで歩行の妨げになっている。ガードレールの位置に、電柱も収めるようにできないだろう。

△ 車と人が混在する区道の場合に、歩道を安全な、快適な道にするにはどうしたらよいか。歩道を片方によせる方がよいか、両方にあった方がよいか。単に感覚的なボンヤリした視点ではなく、きちんと測定して、人の動きを良く観察してほしい。

商店会での一体的な取組み

△ はみ出し看板、はみ出し商品については、交通バリアフリー推進懇談会の場で意見が出たことを、商店会の会合で報告して、改善していきたい。

□ 池尻大橋駅からアーケード商店街。

⑬ 図中白文字番号は、別紙写真番号

←C-11→ 図中黒線上の黒文字は、区道路線番号

□■ 大橋一丁目周辺地区街づくり懇談会(区民・PI)

◇◆ 大橋一丁目周辺地区街づくり懇談会(目黒区)

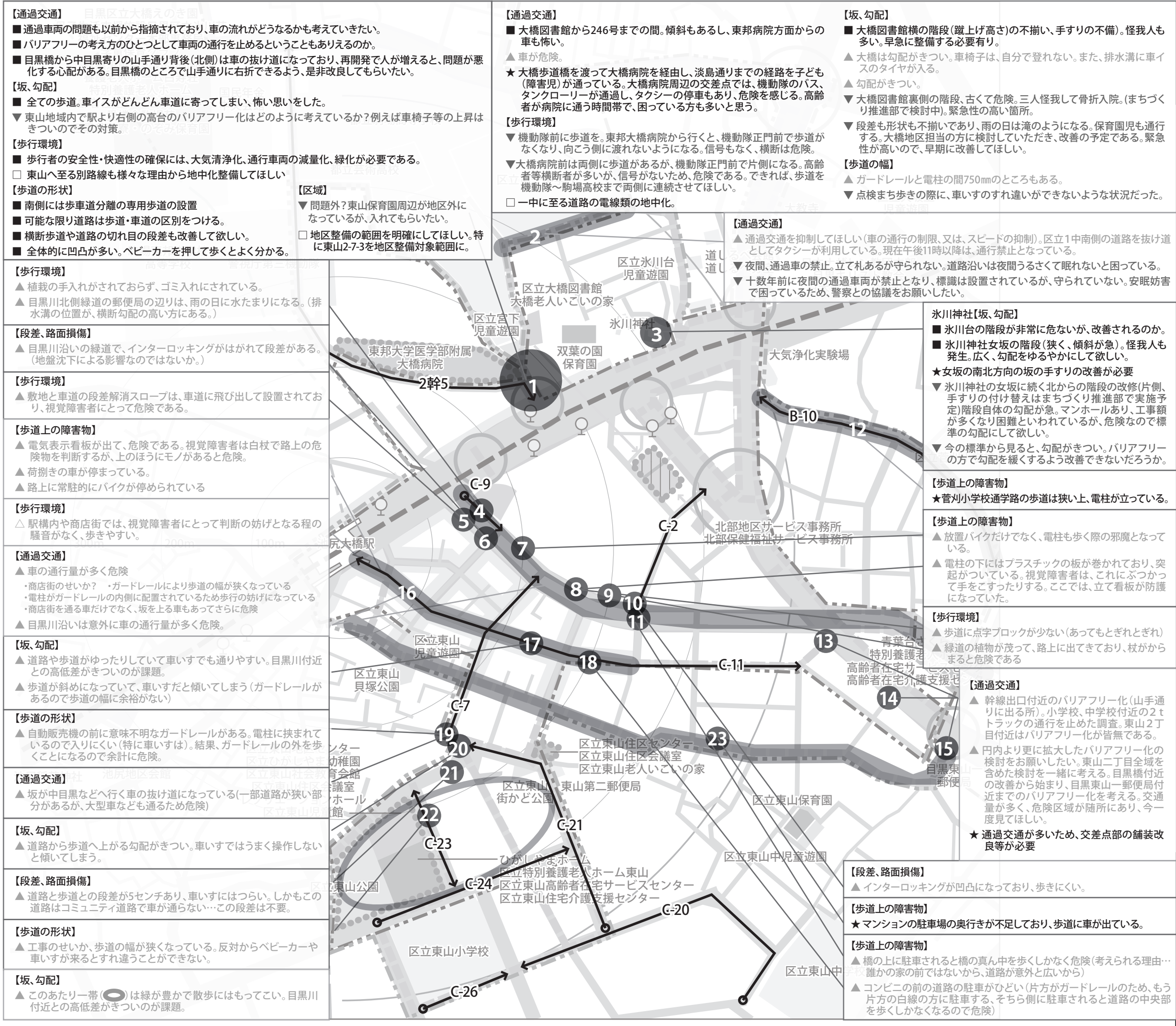
△▲ 池尻大橋駅周辺地区交通バリアフリー推進懇談会(第1回)

▽▼ 池尻大橋駅周辺地区交通バリアフリー推進懇談会(第2回)

★☆ その他(インターネット・障害者団体連絡打合せ等)

・ 整理した項目

※ 白抜きは+の評価・提案、黒塗りは-の評価



1 大橋病院・大橋図書館付近
246号線付近（勾配・通過交通）



大橋病院付近（通過交通・歩道幅員・歩道のときれ）



大橋図書館付近（通過交通・手すりや階段の不揃い）



2 区立一中付近（通過交通）



3 氷川神社（勾配・手すり）



4 目黒川沿川道路（植栽の手入れ・水溜り）



5 目黒川沿川道路（インターロッキングのはがれ）



6 目黒川沿川道路（段差解消コーナー）



7・8 目黒川沿川道路（電柱の位置・防護カバー）



9 目黒川沿川道路（植栽の状況）



10 目黒川沿川道路（インターロッキングの凹凸）



11 目黒川沿川道路（路上駐車）



12 菅刈小学校付近（歩道幅員、電柱位置）



13 東山2丁目付近（山手通りと生活道路交差部）



14 東山2丁目付近（山手通りと生活道路交差部）



15 東山2丁目付近（山手通りと生活道路交差部）



16 商店街（はみ出し看板、路上駐車等）



17 東山（歩道の横断勾配）



18 東山（コンビニ前の路上駐車）



19 東山（東山公園への坂）



20 東山（歩道の勾配）



21 東山コミュニティ道路（歩道と車道の段差）



22 東山地区センター前（歩道幅員）



23 中銀マンション東山（駐車車両の歩道へのはみ出し）



12

意見・提案

・計画策定プロセスの確立

- ☐ 要請・提案がどこまで受入れられるのかを明らかにすべき。
- ☐ 住民等による地域協議会ネットワークの立上げ(行政ネットワークが支援)。
- ☐ 完成後の住民参画の構想、設計を基本計画段階より住民との協働作業で実施すること。行政の組織横断的コンセンサス。
- ☐ 現在以上の道路の混雑はご免。都及び区は周辺の迷惑をどう考え、どう対処するのか、明解に示すべき。根本的対策を講じなければ大変なことになる。
- ☐ 基本設計案の中での位置、スペースを計画に示すべき。
- ☐ 6月21日の点検で指摘された中には、都市計画という大きな事業に組み入れるのではなく、すぐにでも手がつけられ、改善できると考えられる点がいくつかあります。早急な対応を望みます。

・計画の方向性

- ☐ 車椅子をどこまで行かせるべきかについて整理が必要。
- ☐ どのような条件下でもmax条件(専門団体、当事者の多くより)を受け入れること(予算的には青天井で)。
- ☐ 幼児、児童にも配慮が必要。
- ☐ バリアフリー化可能な所は極力実施。
- ☐ 通行量の多い所から実施して欲しい。
- ☐ ひとりひとりのマナーを訴える。
- ☐ バリアフリーの対象を「足の不自由な人」に限定することなく、「目の不自由な人」「耳の不自由な人」も加えてほしい。
- ☐ 「通行に支障なし」の機能的側面だけでなく、「美しい街」に一步進めることにより、人の心をゆったりさせて、自然に障害者を手助けするようにはどうか。
- ☐ 美的要素(景観も重視)を忘れないように。
- ▽ 余りにも多くの要望があるが、出来ること(確実に)から番号を振っていく方が良い。

・P R

- ☐ 沿道に名前をつける(例 世田谷通りへは〇〇通り)。
- ☐ 区発行の「みどりの散歩道」のパンフレットに案内をのせ、区報で紹介。